

349その他の炉、窯等を起因物とする死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業 種	労働 者規 模
1	2020	7	13 ～ 14	石灰焼成キルンの炉内コーチング（石灰塊）を除去するため、炉内で斫り作業中、上部の石灰塊が崩れて右肩に落下し、肩甲骨を折った。	58	4	10601	～ 9999
2	2020	8	14 ～ 15	熱処理工場亜鉛炉で、断線トラブル復旧後のワイヤを線分けするため、亜鉛炉北側エプロンより突き棒を使用して、押し込むために力を入れ付き棒を差し込む際、左足がはまり、炉中の溶融亜鉛（440℃）に、安全靴の踝あたりまで入り、左下腿に第2度の熱傷を負った。	51	11	11009	～ 299
3	2020	8	18 ～ 19	工場内、加熱調理室で釜調理作業中、釜で沸騰したお湯が跳ねて、長靴の中に入り、左足膝下を火傷した。	47	11	10109	～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。